

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 ムトー精工株式会社
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 肇
 (氏名) 金子 貞夫

TEL 058(371)1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	16,719	△12.7	△282	—	△132	—	△124	—
26年3月期第3四半期	19,142	5.0	264	△54.1	470	△32.9	371	△12.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,566百万円 (6.9%) 26年3月期第3四半期 1,465百万円 (52.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△17.38	—
26年3月期第3四半期	51.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	24,848	15,247	57.8
26年3月期	22,472	13,796	57.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 14,368百万円 26年3月期 12,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△15.0	100	△39.8	100	△72.8	50	△80.8	6.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	7,739,548 株	26年3月期	7,739,548 株
27年3月期3Q	552,547 株	26年3月期	552,410 株
27年3月期3Q	7,187,038 株	26年3月期3Q	7,193,602 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、進行を続ける円安・株高や原油価格の下落を背景に、輸出中心の大企業における収益や雇用環境の改善が見られる他、外国人観光客も増加しており、回復傾向にあります。その一方で、依然として個人消費は伸び悩んでおり、円安に伴うコスト増のため中小企業では厳しい状況が続いているなど、景気回復は限定的なものとなっております。

世界経済は、米国をはじめとした先進国を中心に回復傾向にあります。その一方で、欧州や中国経済の減速、原油国の動向、欧州や中東の情勢など、世界経済への影響が懸念される国外情勢が続いております。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、スマートフォンの販売が好調で、新商品向け部品の生産・輸出も増加傾向にあります。また、減産・販売不振が続いていた家電は、ソフトウェアのサポート期限切れや増税に伴う駆け込み需要の反動が和らぎつつあります。自動車関連においては、軽自動車の国内販売や米国向けの輸出を中心に持ち直しが見られます。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、付加価値の低下や受注量の減少、海外子会社の人件費等の固定費増加により、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は167億1千9百万円と前年同四半期と比べ24億2千2百万円(12.7%)の減収となり、営業損失は2億8千2百万円(前年同四半期は2億6千4百万円の営業利益)、経常損失は1億3千2百万円(前年同四半期は4億7千万円の経常利益)、四半期純損失は1億2千4百万円(前年同四半期は3億7千1百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、スマートフォン等モバイル端末市場の拡大により、コンパクトデジタルカメラやビデオカメラ市場は縮小し、関連部品の生産は依然として低迷しております。一方で、好調な新車販売を背景に、エアコンやナビゲーション等の自動車関連部品は堅調に推移しており、減少傾向にあった電子ペン関連におきましても、量産、新機種立ち上げにより当第3四半期連結会計期間において回復の兆しが見られました。当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて148億9千9百万円と前年同四半期と比べ21億3千7百万円(12.5%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は2億5千2百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)2億8千5百万円)となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、カメラやビデオの新商品販売は伸び悩みの状況が続いており、当第3四半期連結会計期間において新機種の立ち上がりがあったものの、打ち切りとなる機種が影響し、大幅な売上増加に至りませんでした。一方で、試作の受注が増加しており、第4四半期連結会計期間以降において、新機種の量産となり売上の増加を見込んでおります。当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて16億7千5百万円と前年同四半期と比べ3億2千6百万円(16.3%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は6千4百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2千7百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計業務にて、安定的に受注を確保している複写機関連と、受注活動を積極的に行ったパソコン等の電子機器に使用されるパッケージ基板の配線設計の売上が増加となりました。検査業務におきましても、時計関係の基板や半導体関連のウェハー基板の電気検査が順調に売上を伸ばしました。また、積極的に新規顧客の開拓、経費削減を進めました結果、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億3千9百万円と前年同四半期と比べ4千万円(20.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3千4百万円と前年同四半期と比べ2千7百万円(448.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ19億8千1百万円増加し、143億8千万円となりました。受取手形及び売掛金が9億4千6百万円、電子記録債権が2億1千2百万円、商品及び製品が2億3千7百万円、仕掛品が2億1千1百万円、原材料及び貯蔵品が3億3千6百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億9千3百万円増加し、104億6千8百万円となりました。有形固定資産が2億9千2百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ23億7千5百万円増加し、248億4千8百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ15億7千2百万円増加し、74億9千4百万円となりました。支払手形及び買掛金が8億5千3百万円、短期借入金が10億1千9百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6億4千8百万円減少し、21億5百万円となりました。長期借入金が6億7千9百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ9億2千3百万円増加し、96億円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14億5千1百万円増加し、152億4千7百万円となりました。為替換算調整勘定が15億7千7百万円増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想(通期)及び配当予想(期末)につきましては、平成26年11月14日にて公表いたしました「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,443,112	4,630,363
受取手形及び売掛金	3,882,031	4,828,674
電子記録債権	376,871	589,252
商品及び製品	859,309	1,097,011
仕掛品	752,327	964,185
原材料及び貯蔵品	1,269,004	1,605,359
未収入金	431,461	256,193
繰延税金資産	52,689	49,462
その他	331,995	360,256
貸倒引当金	△447	△688
流動資産合計	12,398,356	14,380,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,989,358	3,138,905
機械装置及び運搬具(純額)	3,770,265	3,705,457
土地	1,528,380	1,564,658
建設仮勘定	80,846	193,986
その他(純額)	882,452	940,320
有形固定資産合計	9,251,304	9,543,328
無形固定資産	283,900	290,950
投資その他の資産		
投資有価証券	324,562	353,135
繰延税金資産	276	-
その他	217,114	283,514
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	539,067	633,764
固定資産合計	10,074,272	10,468,043
資産合計	22,472,629	24,848,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,314,396	3,168,224
短期借入金	1,471,618	2,490,906
1年内返済予定の長期借入金	928,440	928,440
未払法人税等	48,770	63,171
賞与引当金	183,095	154,539
その他	975,617	689,334
流動負債合計	5,921,938	7,494,616
固定負債		
長期借入金	2,356,611	1,676,821
繰延税金負債	34,033	31,736
役員退職慰労引当金	183,333	194,495
退職給付に係る負債	167,370	195,053
その他	13,081	7,575
固定負債合計	2,754,430	2,105,681
負債合計	8,676,368	9,600,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	9,363,043	9,123,124
自己株式	△397,587	△397,670
株主資本合計	13,390,128	13,150,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,611	97,487
為替換算調整勘定	△455,875	1,121,188
その他の包括利益累計額合計	△417,264	1,218,675
少数株主持分	823,396	879,013
純資産合計	13,796,261	15,247,816
負債純資産合計	22,472,629	24,848,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	19,142,465	16,719,733
売上原価	16,474,609	14,675,467
売上総利益	2,667,855	2,044,266
販売費及び一般管理費	2,403,643	2,326,938
営業利益又は営業損失(△)	264,212	△282,672
営業外収益		
受取利息	15,240	28,566
受取配当金	5,730	6,503
為替差益	158,807	119,680
その他	59,431	26,427
営業外収益合計	239,208	181,177
営業外費用		
支払利息	32,156	31,313
その他	325	-
営業外費用合計	32,482	31,313
経常利益又は経常損失(△)	470,938	△132,808
特別利益		
固定資産売却益	2,084	1,099
投資有価証券売却益	-	13,397
特別利益合計	2,084	14,497
特別損失		
固定資産売却損	1,254	9
固定資産除却損	8,221	2,865
投資有価証券売却損	224	10,792
ゴルフ会員権評価損	2,196	-
特別損失合計	11,896	13,667
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	461,126	△131,978
法人税等	97,647	65,110
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	363,479	△197,089
少数株主損失(△)	△7,868	△72,163
四半期純利益又は四半期純損失(△)	371,347	△124,926

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	363,479	△197,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,793	58,876
為替換算調整勘定	1,089,243	1,704,844
その他の包括利益合計	1,102,036	1,763,720
四半期包括利益	1,465,515	1,566,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,363,577	1,511,014
少数株主に係る四半期包括利益	101,938	55,617

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,011,810	1,942,057	188,597	19,142,465	—	19,142,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,042	60,121	10,343	95,508	△95,508	—
計	17,036,853	2,002,178	198,941	19,237,973	△95,508	19,142,465
セグメント利益又は損失(△)	285,690	△27,707	6,229	264,212	—	264,212

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,876,255	1,613,518	229,959	16,719,733	—	16,719,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,131	61,827	9,553	94,512	△94,512	—
計	14,899,387	1,675,345	239,513	16,814,246	△94,512	16,719,733
セグメント利益又は損失(△)	△252,724	△64,086	34,138	△282,672	—	△282,672

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。